

HMG-CoA還元酵素阻害剤（スタチン）フォーミュラリ Ver.1.1

2026年8月14日改定

推奨	第1推奨		第2推奨			
一般名	ロスバスタチンカルシウム		アトルバスタチンカルシウム水和物		ピタバスタチンカルシウム	
代表的な製品名	GE：ロスバスタチン錠	先発：クレストール錠	GE：アトルバスタチン錠	先発：リピトール錠	GE：ピタバスタチン錠	先発：リバロ
標準的 1 日薬価	10. ⁸ 円 (2.5mg/日)	15. ¹ 円 (2.5mg/日)	10. ⁸ ～11. ⁵ 円 (10mg/日)	16. ⁹ 円 (10mg/日)	11. ⁶ ～17. ⁴ 円 (2mg/日)	26. ⁵ 円 (2mg/日)
効能・効果	①高コレステロール血症 ②家族性高コレステロール血症		①高コレステロール血症 ②家族性高コレステロール血症		①高コレステロール血症 ②家族性高コレステロール血症	
用法	1日1回 経口投与		1日1回 経口投与		1日1回 経口投与	
用量	1回2.5mg（最大:20mg）		1回10mg（最大：①20mg、②40mg）		1回1～2mg（最大：4mg）	
半減期(hr)	14.0±10.9(5mg,普通錠)		8.95±3.02(錠剤,10mg)		10.77±1.73（錠剤,2mg）	
特徴など	・水溶性ストロングスタチンで、相互作用が少ない ・承認用量の幅が最も広く、用量調節がしやすい ・最も薬価が低い ・シクロスポリンとは併用禁忌 ・口腔内崩壊錠(OD錠)が発売されており、服用しやすい		・脂溶性ストロングスタチン ・CYP3A4で代謝されるため、相互作用に注意が必要 ・マヴィレット配合錠と併用禁忌 ・糸球体濾過量保持作用が示唆されている ・口腔内崩壊錠(OD錠)が発売されており、服用しやすい(GEのみ)		・脂溶性ストロングスタチン ・「10歳以上の小児における家族性高コレステロール血症」の適応が唯一承認されている ・シクロスポリンとは併用禁忌 ・口腔内崩壊錠(OD錠)が発売されており、服用しやすい	

解説

有効性・安全性

・日本では2021年12月時点で、ストロングスタチン3種類（アトルバスタチン、ピタバスタチン、ロスバスタチン）、スタンダードスタチン3種類（シンバスタチン、プラバスタチン、フルバスタチン）が発売されている。

・日本動脈硬化学会「動脈硬化性疾患予防ガイドライン2017 年版¹」など国内のガイドライン²⁻⁴において、特定のスタチンは推奨されていない。

・日本循環器学会「急性冠症候群ガイドライン2018年改訂版⁵」においては、日本のACS患者においては、早期から最大量のストロングスタチンが推奨されている。

・スタチン不耐診療指針作成ワーキンググループ「スタチン不耐に関する診療指針2018⁶」において、スタチン間の有害事象発生率については記載されていない。

推奨の理由

・有効性・安全性、各薬剤の特徴（上記）を考慮し、第 1 推奨を**ロスバスタチン**、第2推奨を**アトルバスタチン**、**ピタバスタチン**とした。

・なお、成人の高コレステロール血症に対するフォーミュラリであることに留意して欲しい。

推奨薬以外のスタチンについて

下記の理由により本フォーミュラリには掲載していないが、オプションとして継続処方、地域・施設の処方実績や流通状況などに応じて処方を考慮する

●プラバスタチン：

＜参考文献＞

- 1：日本動脈硬化学会. 動脈硬化性疾患予防ガイドライン2017 年版
- 2：日本動脈硬化学会. 動脈硬化性疾患予防のための脂質異常症診療ガイド2018 年版
- 3：日本糖尿病学会. 糖尿病診療ガイドライン2019
- 4：日本腎臓学会. エビデンスに基づくCKD診療ガイドライン2018

本フォーミュラリーは2021年12月20日時点の添付文書・インタビューフォーム・2026年4月1日時点の薬価ならびに各種ガイドラインを参考に作成していることに留意されたい。